

すくも
自主防災会だより
第19号

「早期避難」と「家屋の耐震化」を実現すれば、地震・津波からの犠牲者は8割程度確実に減るといわれています。しかしながら、求められる避難行動の実効性を高めることや、家屋の耐震化率の向上を図ることは思いのほか難しいのが実情であろうと思われま

す。前者においては、特に「避難行動要支援者」への取り組みをいかに進めるのが、今大きな問題となっております。自治会などの地縁組織が母体となり地域住民が自主的に参画して地域の防災活動に取り組む自主防災組織は、消防や警察を含む行政と連携しながら活動を進めることが期待されていますが、一方で見落とせないのは、地域に根ざした民生児童委員の活動とのコラボ（協働連携）の重要性だと感じています。いざというときに、死角や盲点を最小限に抑えるのに必要なものは、そう「重層度チェック」なのです。結果において二重の手当てになったとしても、それは決して無駄なことではないのです。非常時の大混乱の中で、すべ

てが意図するとおりに無駄なく効率的、かつスマートに進むと考えること自体に無理があるのです。避難行動要支援者に対する平素からの取り組みに、自主防災組織はさらに深くかわわる意識が求められるし、また地域全体の防災学習、訓練や調査の場などへの民生児童委員の積極的参画が重要であることも論をまちません。要は、関係者（機関・組織）がお互いに向き合った「密接な相互支援関係」なくして、この厳しい難局を乗り越えることはできないと知るべきで、また、その相互関係向上の努力は、平常時において最も求められるものと確信します。防災緊急期には何もできない可能性が大きいことを覚悟すべきかもしれません。なぜなら、大規模震災においては、例外なく皆が被災者になるのだから。何とか「生存領域」にすべり込んで、その後の応急期以降に求められるそれぞれの役割を果たしていきたいものです。



動きは実に鈍い。嫌なことは考えたくない、面倒なことは避けたいという人間の「さが」が原因なのでしょう。今かかる人間心理を理解した促進策を何とか案出する必要があります。おとり、高知県においても耐震化率の向上に躍起になっているように伺っています。そこで、耐震化率向上という難しいゴールへの中間目標として、まず「耐震金具による家具などの安定補強」を普及し、耐震金具を惜しまず利用することがとても安く有効な保険料であることを意識させることは、思いのほか意味があるかもしれません。



耐震化は大事だぞー

阪神大震災においては、家屋の倒壊による圧死が目立ち、犠牲者の88%を占めたといわれています。幸いに倒壊を免れた住宅においても、室内の家具などが転倒・破損して多くの人的被害が生じたことはご存じのとおりです。私たちが具体的な行動を起こすときには、必要性を理解し、そのことを納得した上で、我がごとと思いい、行動を決断し、実践に移す。このプロセスを念頭に耐震化を促す必要があります。その際、「こと」|| 知識や制度、「もの」|| よい技術、「かね」|| 助成やお得感、などの難しいハードルを克服しなければなりません。画期的な妙案を提示することは簡単ではありませんが、我々一人ひとりができることから始めれば、それが最終ゴールではないにせよ、結果において耐震化率の向上にいくばくかの貢献が期待できるのかもしれないですね。

お!! なか・すくも線 ウォーク

延光寺!! 瞑想・法話体験
三二「八十八カ所巡り」と高架
橋見学ウォーク

日時 10月31日(土) 10時30分
集合場所 平田駅
参加費 2,500円(食事代込み)
申込締切 10月23日(金)

日時 11月3日(火・祝) 10時30分
集合場所 平田駅
参加費 2,000円(焼肉1人前の食事代込み) ※予定
申込締切 10月23日(金)

【申し込み・問い合わせ先】
土佐くろしお鉄道(株)中村駅
☎088013514961

サニーくん
やなせたかし
土佐くろしお鉄道(株)